

村の誇りを取り戻す！

～農村の新しい価値を創造～

活動地域  和歌山県

つづける助成

2年目

実践

棚田耕作面積 **3,500㎡**

里山学校延べ参加者 **500人**

今年度計画の達成度 **50%**

全体計画の達成度 **75%**



棚田の収穫作業（稲刈り）

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

新型コロナウイルス禍において、イベントの参加者が少なく、回数も制限せざるを得なかった。

■ 工夫した点

HPを通じてイベントの開催、棚田オーナーのイベントへの参加を後援した。

課題

棚田地域の住民が都市の住民と手を携え、ともに保全活動に参加し、古来受け継いできた豊かな農村環境や生き物の生息環境を維持し、後世に継承する。

目標

- ①棚田オーナーが耕作放棄地を田んぼとして再生(2,000㎡以上)する
- ②里山学校への参加者を年間延べ1,000人を超える

活動内容と成果

棚田オーナーを募集し、都会や地元幼稚園等5口の応募があり、田植えや稲刈り等の農業体験を通じて棚田の保全活動に参画してくれた。また、地元小学生も農業体験に参加、生き物観察を通じて棚田の継続に一翼を担ってくれた。また、全国棚田サミット（滋賀県高島市）に参加し、棚田保全の課題の共有、都会住民や企業等外部との連携の必要性を学習した。結果、新型コロナウイルス禍において活動の制限もあり、里山学校の年間延べ参加者の1,000人の目標は達成できなかった。



棚田の田植え作業（手植え）

全助成期間の活動を振り返って

棚田オーナー制度や地元小学校、幼稚園等の参画による棚田保全活動の功績が認められて、農林水産省の「つなぐ棚田遺産」に認定されたことは大きな成果であった。また、生き物観察会等の希少生物の生息確認等を通じて、棚田周辺の自然環境の保全に繋がっていることも評価できるものである。しかしながら、インバウンドを通じて日本と農村の歴史を伝えていくことについては成功に導くことができなかった。



棚田の草取り（除草）作業

〒649-7112
和歌山県伊都郡かつらぎ町中飯降690-3

今後の展望

農村と都会の距離を近くしていく必要性から、棚田オーナー制度を通じて、棚田の保全を継続していきたい。また、棚田保全を継続することで、希少生物の保護にも繋げていきたい。

